

未来の夢を創る子



平成30年11月2日 富岡第一小学校 997-0343

どんなことを感じますか？

校長 藪下 亮治

10月20日(土)に富岡地区青少年健全フォーラムが行われ、「地域と私～市民活動を通して感じること～」をテーマに地区内4小中学校の児童生徒が発表をしました。本校6年生の発表内容は以下の通りです。(紙面の関係で略してあります。)



苦手なことでもやってみよう

「今から子供会の集まりを始めます。」

部屋にぼくの声がひびいた。ぼくは、人前で話すことが苦手だ。ましてや、あまり話したことの無い人と関わるなんて、正直、ぼくにとっては、ばつゲームと同じようなものだと思えてしまう。とは言え、地区の6年生はぼく一人。ぼくがやらないと他の人に迷わくがっかり、ざい悪感が残る。だから、仕方なくやっているも同然だった。

今回やるのは、夏祭りのみこし作りだ。みこしを作るには、まず材料を買わなくてはならない。だから、5年生以下の子たちに、できる所から先に作っておいてほしいとたのんで、ぼくは地区のリーダーの人と一っしょに買い物に出かけた。(略)

そして買い出しが終わり、みんなのところへ帰ると、あんなに時間があつたのに、土台が少し作ってあるだけだった。思った以上に進んでいない状況に、ぼくは思わず、「えー！」と声をもらしてしまった。しかし、ここで大変そうな顔をしてしまつては、これまでと変わらないと思い、「まだ時間はあります。最後までがんばりましょう。」と言つたら、みんなが「はい。」と大きな声で返事をして、その後はてきぱきと仕事をしてくれた(略)

そして、一時間がたち、ようやくみこし作りは、最後のかざりをつけて終わりというところまでやって来た。その時、「君がこれを付けなよ。」と役員の方が言ってくれた。最後のかざりはみこしのメインで、とても重要な場所だったので、自分がやっているのかとまどっていると、「君が、一番よくがんばっていたからね。」と言って、ぼくに最後のかざりを渡してくれた。

祭りが終わると、母は、「6年生が一人なのに、よくがんばったね。」と言ってくれた。自分でも、低学年の子がたくさんいる大変な地区をまとめることができたという達成感があった。

「人前で話すのは苦手だから…」と言ってさけていたら、この達成感は味わえなかったと思う。しかし、何でこんなにうまくいくことが出来たのだろう。それは、あの買い物に行く車の中で、地区のリーダーの人が、ぼくの気持ちを理解して、声をかけてくれたからだと思う。みこし作りの最後に、メインのかざりをつけなよと言って、ぼくのがんばりを見てくれていた人がいたからだと思う。地区の人たちに支えられていたからこそ、あの達成感を味わうことができたのだ。(略)

発表者は、人前で話をするのは苦手なのに、リーダーとして下級生に声を掛けながら立派な神輿を仕上げることができました。本人の努力、頑張り、素晴らしいと思います。それと合わせて、大人に課せられた大事な役割について考えることができました。頑張っている子供の姿を認め価値付けてあげること(時には厳しく正してあげること)が、大人の大事な役割であることを感じた発表でした。



すばらしい音楽会でした

10月25日に市内小中学校連合音楽会が市民文化センターで行われました。本校の4年生は、合奏「ドラえもん（星野 源）」と、二部合唱「怪獣のバラード」を披露しました。事前に、拍手は学校の発表がすべて終了後という説明がありましたが、「ドラえもん」の演奏が終わると、なんと拍手が起こりました。

主催者あいさつの中で、「音楽や美術に本来は順番はない。聴いた人、観た人がどう感じたかです。」という話がありましたが、私の中では、一生懸命練習に取り組んでいたことを知っている「**富一小の4年生が一番**」でした。



車いすマークの駐車場を設置しました

学校の体育館前のスペースは、車両の進入を限定しています。しかし、実際には児童の登下校時にも多くの車が進入しており、危険だと感じることもあります。また、けがや体調不良の児童の送迎車両や、歩行が困難な来校者が、駐車できないことも発生しています。

そこで、来賓玄関前のスペースを優先駐車場として確保しました。体育館前は2・3年生が昇降口から運動場に抜けるための動線や中央昇降口を利用している児童が山神社方面に向かうための動線になっています。敷地内に車で進入する際は、必ず徐行してください。



11月27日はマラソン大会です ※予備日 28日

11月に入り、マラソン大会が近づいてきました。練習も始まっています。日程やコースについては、後日別紙にてお知らせしますが、表彰について職員で検討しましたのお知らせします。

【継続】

- ・完走証・・・完走者全員に順位とタイムの記載された完走証を与える。
- ・入賞・・・各学年男女10位までに入賞した児童に賞状を与える。
- ・努力賞・・・昨年度より10位以上順位が上がった児童に努力賞を与える。

【廃止】

- ・3年連続3位以内に入賞した児童に賞状を与える。
→順位については、毎回入賞した児童に賞状を与えているため。
ただし、6年間連続1位については、協議する。



体調を崩さぬよう、しっかり健康管理をしましょう。